

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

	事業所名	公表日				
	児童発達支援 みんなのき ねーね	R8 年 3月 30日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	・こども園が併設されているので、共有スペースを利用している。 ・状況に応じて、他の部屋や園庭なども使用している。	・プレイルームは少し狭いと感じている。 ・デイルームに関しては人数に対して狭いと思う。他の場所を活用するなど工夫がいかかを感じる。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・活動や子どもの発達に応じて、必要な職員を配置することはできている。 ・最低基準の人員に加え加配職員等の配置をしている。	・その時のメンバーによるが、一対一での必要ある幼児もいるため、そこを踏まえての配置が必要と感じる。 ・2歳から5歳の異年齢クラスや、個別対応が必要な子が含まれる場合など、適切と思えない時もあるためどちらとも言えない。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・職員はトランシーバーで情報共有を行なっているが、充分とは言えない。 ・姉妹園など、参考にしながら現在改革中。	・発達支援室自体が2階の奥にあり、玄関から遠い。トイレは部屋から出て廊下の一番端。南側の園庭にも遠い北側に部屋があるため、とにかくどこへ行くにも移動距離があり、刺激や死角が多い。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・壁や可動式の素材棚なども活用しながら、自由に制作遊びが出来るように工夫し、空間も保持出来るようにしている。	・毎日清掃はしているが、整理整頓は行き届いていない場所はある。 ・掃除の徹底が必要。 ・共有部の清掃などより丁寧に行う必要は感じている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・相談室など、状況に応じて使用できる。 ・状況に応じて個別に居心地の良い場所で過ごすことは日常的に行われている	・出入りのない落ちつく空間があってもよいと感じる。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・毎日朝会議と活動後の振り返りの時間を設けている。	・職員の考えにばらつきがあり、表での話しあい、振り返りなどはしているが、根本の違いが、コミュニケーションの取りづらさにつながっていると感じる。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・職員全員が把握できるように周知している。 ・アンケートの回収率を高めるために、ウェブでの回答ができるようにしている。また、リマインドを行うようにした。	・全て声をひろえているか?には、そうでない部分も感じる。そのためにも、職員同士がコミュニケーションをとれる状況をつくり、意見や情報の交換と新人育成からの保護者対応に結びつける必要を感じる。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・朝会議や振り返りの場、職員会議を実施している。	・メンターエルダーなどの機能がなされていない。 ・個別での意見聴取の場を増やしていきたい。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	・併設するきょうだいいちからの意見等は生かすようにしている。	・第三者評価は受けていない。 ・第三者評価の受診が現状できていない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・興味のある研修に希望し参加している。 ・園内チャットでの研修動画の配信、外部研修の紹介など研修機会の確保を図っている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・園のホームページにて 公開している。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・面談を実施し、計画書の作成を行なっている。 ・定期的に面談を行いニーズや課題に見合った計画書を作成している。 ・年度ごとに保護者への質問紙を実施し、状況の把握を行っている。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・職員会議などで必要に応じて検討している。 ・児発管と担当職員が面談に同席し、その内容を元に計画書に反映させている。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・朝会議や振り返りの場で全体共有している。 ・職員間で閲覧できるようになっている。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・システム内の発達経過記録を使用している。	・都度確認は必要と感じる	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・並行通園先との連携なども含めて計画している。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・朝会議などで全体共有し、検討している。 ・事前に上司などに相談するなどしている。	・ケース会議など話しあいの時間をもつ工夫が必要	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・様々な活動ができるよう工夫している。 ・季節の行事なども取り入れ、多様な体験ができるよう配慮している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・グループ内での小グループや個別活動の編成など適宜行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・朝会議を必ず取り、全体周知している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・振り返りの場で、次回に繋げられるよう全体周知している。	・振り返りは行われているが、より次につながる振り返りにしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・システム内に記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・半年ごとのモニタリングおよび保護者面談を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者を中心に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・書面、電話、参観などの方法で連携をとるようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・こども園との併設施設であり、日ごろから自然な形で交流を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・必要に応じて連絡シートを作成している。 ・必要に応じて連絡シートにて、児童の様子などを記入した物をお渡ししている。 ・書面での連携を中心に、必要な場合には電話連携なども含めて行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	・地域の支援学校の先生に、なんでも相談会として来ていただく機会がある。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	・活動中はこども園の園児と交流しながら過ごしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・活動後に報告の時間を設けている。 ・日々の報告、ノート等を用いて共有しやすくなるよう工夫している。 ・面談の機会を必ず設けるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・親時間を毎月開催している。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・都度オリエンテーションを実施している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・面談を実施している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・面談で説明をし同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・連絡ノートを利用し、必要に応じて面談を実施している。 ・年2回の定期面談に加え、ノートや臨時面談などを行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・同窓会や交流会を実施している。 ・同窓会を開催したり、保護者主催の集まりの場所の提供などを行なっている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・相談についてはできる限り速やかに面談の機会を設けるよう留意している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・園だよりを毎月発行している。 ・アプリを利用し、情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人のID・パスが付与され、園内PCでのみ閲覧可能なシステムを使用している。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・絵カードや写真など必要に応じて配慮している。 ・子どもに対しては視覚支援なども用いて、自己選択につながるよう働きかけている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・夢のひろば、園庭開放や地域公益支援事業を実施している。 ・地域の方を招いたイベント等を行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・地震・火災・水害・防犯などの訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・訓練を定期的実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・入園児に医療の状況など確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・エビペンの持参が必要な場合に、指示書を頂くなど対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	・心肺蘇生（AED）の訓練等を行っている。	・安全についての職員への指導をより徹底して行って欲しい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	・訓練の実施状況などは園だより等でお知らせしている。	・周知状況は十分とは言えない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・事故やヒヤリハットがあった場合にはシステム内に記録を残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・管理者の外部研修の受講とその周知、園内研修の実施等を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	・現状、身体拘束が必要なケースはない。		